

千葉大学理学部化学科 教育課程編成・実施の方針

「自由・自立の精神」を堅持するために

自立した科学者・技術者として要求される総合的能力と倫理観を身につけることができるように、普遍教育と理学の基礎を修得するための化学を中心とした専門教育とをバランスよく編成し、提供する。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」を持つために

- 化学の環境・社会における影響力と役割を理解し、自己の専門的能力を持続的な社会の発展のために役立てることができるように、幅広い視野の醸成、批判的精神の涵養、豊かな教養に裏打ちされた全人的な人間性の陶冶を目的とする普遍教育と化学を中心とした専門教育をバランスよく編成し、提供する。
- 諸課題が地球規模となる時代に対応した教育環境を提供するとともに、地域を支える人材育成に取り組む。

「普遍的な教養」を涵養するために

社会の一員として備えるべき一般的素養・知見と総合的判断力を身につけ、人類や社会が直面する課題について多面的な認識を持つことができるように、普遍教育の「教養コア科目」と「教養展開科目」および「初修外国語科目」を体系的に選択できるようにする。

「専門的な知識・技術・技能」を修得するために

- 専門領域での必須事項を段階的・体系的に修得できる教育課程を編成し、提供する。
- 実験や演習を含む専門科目、さらには卒業研究を通して、化学に関する幅広い専門知識を身につけ、化学的現象を分子・原子のレベルで論理的に理解することができ、さらに、未知の問題に対する実証分析能力および解決能力を持つための実践的教育の機会を提供する。
- 社会に貢献し、社会を牽引するイノベーション創出のための教育環境づくりを進める。

「高い問題解決能力」を育成するために

- 演習、卒業研究および実験の結果発表会を通して、コミュニケーション・プレゼンテーション能力の向上を目指す実践的教育の機会を提供する。
- 普遍教育の「英語科目」や理学部（「科学英語Ⅰ、Ⅱ」）と化学科（「化学英語」）が提供する英語科目を通して、英語の基礎能力を高める教育を提供する。
- 情報通信技術などの利用も含め、種々の方法で必要な情報を適切に収集、取捨選択、整理、分析、発信し、知的財産権や情報倫理にも配慮しつつ利用することができるように、普遍教育の「情報リテラシー科目」

と専門教育における情報関連科目を提供する。

- 他者と協調・協働して行動し、主体的・能動的に問題解決に取り組むことができる能力の涵養のために、協働で行う実験の機会を提供する。また、普遍教育の「スポーツ・健康科目」を履修することもこの能力向上のため推奨する。

卒業研究において課せられた、または自らが設定した問題に対して、問題の解析、情報の収集、現状分析を通して問題解決へのプロセスに取り組む、学生自身による自主的・実践的研究の場を提供する。